

9:45 - 10:45

6. 免疫制御による治療

座長 中村 稔

19) 原発性胆汁性肝硬変の肝内リンパ球解析

新潟大学医学部附属病院・生命科学医療センター 市田 隆文

20) PBC における自己反応性 T 細胞応答とその制御

自治医科大学・消化器内科 喜多 宏人

21) Th1/Th2 バランス制御法の開発

埼玉医科大学・免疫学 松下 祥

10:45 - 11:00

7. 治療法開発への EBM の導入

座長 渡部 幸夫

22) 原発性胆汁性肝硬変への EBM の導入

高知大学第三内科 西原 利治

11:00 - 11:30 全体討論

11:30 閉会

平成16年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業

「難治性自己免疫性肝疾患の画期的治療法の開発に関する臨床研究」班 班員名簿

| 区 分     | 氏 名             | 所 属 等  | 職 名       |
|---------|-----------------|--|-----------|
| 主任研究者   | 石橋 大海           | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター  | 臨床研究センター長 |
| 分担研究者   | 中村 稔            | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター  | 先端技術研究部長  |
|         | 右田 清志           | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター  | 免疫研究部長    |
|         | 伊東 正博           | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター  | 研究検査部長    |
|         | 兼松 隆之           | 長崎大学大学院・移植・消化器外科   | 教授        |
|         | 坪内 博仁           | 宮崎大学医学部・第二内科   | 教授        |
|         | 松下 祥            | 埼玉医科大学医学部・免疫学  | 教授        |
|         | 松口 徹也           | 鹿児島大学大学院・発生発達成育学   | 教授        |
|         | 市田 隆文           | 順天堂大学医学部・消化器内科   | 教授        |
|         | 西原 利治           | 高知大学医学部・消化器病態学   | 助教授       |
|         | 金子 周一           | 金沢大学大学院・がん遺伝子治療学   | 教授        |
|         | 若月 芳雄           | 京都大学大学院・医学研究科内科学講座   | 講師        |
|         | 田中 篤            | 帝京大学医学部・内科学講座  | 講師        |
|         | 喜多 宏人           | 自治医科大学・消化器内科   | 助手        |
|         | 下田 慎治           | 九州大学大学院・病態修復内科学  | 助手        |
|         | 大曲 勝久           | 長崎大学大学院・消化器病態制御学   | 講師        |
|         | 渡部 幸夫           | 国立病院機構相模原病院  | 地域医療・研修部長 |
|         | 上野 義之           | 東北大学大学院・消化器病態学   | 講師        |
| 原田 憲一   | 金沢大学大学院・形態機能病理学 | 講師   |           |
| 石川 文彦   | 九州大学大学院・病態修復内科学 | 学術振興会特別研究員   |           |
| 研究協力者   | 八橋 弘            | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター  | 治療研究部長    |
|         | 藤岡ひかる           | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター  | 形態研究部長    |
|         | 大黒 学            | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター  | 肝炎治療研究室長  |
|         | 小森 敦正           | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター  | ウイルス研究室長  |
|         | 松本 武浩           | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター  | 情報推進研究室長  |
|         | 酒井 浩徳           | 国立病院機構九州医療センター・消化器科  | 医長        |
|         | 中村 陽子           | 国立病院機構相模原病院・消化器科   | 内科医師      |
|         | 恒吉 正澄           | 九州大学大学院・医学研究院形態機能病理学   | 教授        |
|         | 松浦 栄次           | 岡山大学大学院・医歯学総合研究科病態機構学  | 助教授       |
|         | 井戸 章雄           | 京都大学医学部・付属病院探索医療センター   | 助教授       |
|         | 蒲原 行雄           | 長崎大学医学部・付属病院移植・消化器外科   | 助手        |
| 事務局     | 金子 龍也           | 国立病院機構長崎医療センター・企画課<br>〒856-8562 長崎県大村市久原2丁目1001-1<br>TEL:0957-52-3121/FAX:0957-53-6675<br>e-mail :tkaneko@nmc.hosp.go.jp | 業務班長      |
| 経理事務担当者 | 竹森 史            | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター<br>e-mail : takemori@nmc.hosp.go.jp  | 事務員       |

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業  
『難治性自己免疫性肝疾患の画期的治療法の開発に関する臨床研究』班

平成16年度 第1回会議プログラム

期日：平成16年9月17日～18日  
場所：国立病院機構 長崎医療センター  
臨床研究センター会議室

9月17日(金)

13:30-14:00

|                   |       |      |
|-------------------|-------|------|
| 開会の辞              | 主任研究者 | 石橋大海 |
| 経理事務について          | 業務班長  | 金子龍也 |
| 今回の班会議の予定         |       |      |
| 昨年度の研究のまとめと本年度の計画 | 主任研究者 | 石橋大海 |

14:00-15:45 (発表10分, 討論5分)

I. 臨床観察にもとづく病態, 予後規定因子, 予測マーカーの検索

1. 非硬変から肝硬変へ進展する例はどのような病態であるか?  
国立病院機構相模原病院消化器科 渡部 幸夫  
中村 陽子
2. PBCにおける生体肝移植症例の臨床的背景と病理形態学的検討  
九州大学大学院形態機能病理 恒吉 正澄  
相島 慎一
3. PBCの進展と治療反応性の予測におけるIgAクラス抗M2抗体の役割に関する研究  
長崎大学大学院消化器病態制御学 大曲 勝久
4. 原発性胆汁性肝硬変の予後予測マーカーの同定  
長崎医療センター臨床研究センター 中村 稔
5. 原発性胆汁性肝硬変に対するEBMの導入に関する研究  
高知大学消化器病態学 西原 利治
6. 肝移植をうけたPBC症例の検討 プロトコール生検による変化について  
長崎大学大学院移植・消化器外科 蒲原 行雄  
兼松 隆之
7. 原発性胆汁性肝硬変レシピエントの生体肝移植後の再発に関する検討  
順天堂大学消化器病学 市田 隆文

15:45-16:00 休憩・集合写真撮影

16:00-17:15

## II. 治療のターゲットとなる分子標的の探索(1)

8. PBCの進展に関する遺伝子・蛋白発現の病理学的解析

- 1) 複数回生検症例を用いた進行に関する形態学的変化の解析
- 2) PPAR $\alpha$ の発現

長崎医療センター臨床研究センター 伊東 正博

9. 新しい治療法開発のための分子標的の同定

長崎医療センター臨床研究センター 中村 稔

10. PBC肝組織におけるToll-like receptorの発現

長崎医療センター臨床研究センター 右田 清志

11. Toll-like receptorを介した自然免疫応答賦活の原発性胆汁性肝硬変の病態進行への関与の検討

新潟大学第三内科 山際 訓

順天堂大学消化器病学 市田 隆文

12. ゲノミクスに基づく難治性自己免疫性肝疾患の病態解析と診断・治療への応用

金沢大学大学院がん制御学 金子 周一

17:15-18:15

## III. 治療のターゲットとなる分子標的の探索(2)胆管上皮からのアプローチ

13. 解剖学的・細胞生物学的に異なる特徴を示す大型・小型の肝内胆管細胞を用いて、胆管細胞の多様性を規定する蛋白発現をプロテオーム法にて解析

東北大学大学院消化器内科学 上野 義之

14. 原発性胆汁性肝硬変の胆管病変発生におけるペルオキシソーム増殖因子活性化受容体(PPAR) $\gamma$ の関与—PPAR $\gamma$ リガンドを用いた分子標的薬剤の開発

金沢大学がん細胞学 原田 憲一

15. 原発性胆汁性肝硬変の病態形成におけるWntシグナルの関与と原発性胆汁性肝硬変における肝トランスポーターの変化

帝京大学内科学 田中 篤

16. PBCにおける胆管・肝細胞障害/再生を特徴づける、各種肝転写因子および増殖因子の発現/機能変化について及びPBCの病態進行対する緑茶エキス(GTE)の効果について

—探索的臨床パイロット研究

長崎医療センター臨床研究センター 小森 敦正

9月18日(土)

8:45-10:00

**IV. 免疫制御による治療法**

17. CD4T細胞応答とその制御による治療法の開発

九州大学大学院病態修復内科学 下田 慎治

18. 自己抗原特異的CD8T細胞応答とその制御による治療法の開発

自治医科大学消化器内科 喜多 宏人

19. NKT細胞の制御法に関する研究とTh2アジュバンドに関する研究

埼玉医科大学 松下 祥

20. 抗原の経口投与により肝臓で誘導される新規免疫調節性T細胞の同定とその誘導機序・臨床

京都大学大学院内科学 若月 芳雄

21. PBC動物モデルの開発とそれを用いた胆道障害機序の解析・治療法開発

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 松口 徹也

10:00-10:45

**V. HGF, 肝再生・肝細胞移植**

22. 末期肝硬変に対する遺伝子組み換え型ヒトHGFの臨床応用

宮崎大学第二内科 坪内 博仁

京都大学大学院探索医療センター 井戸 章雄

23. 骨髄/臍帯血由来細胞による肝細胞再生の効率、肝組織の機能の改善の両者について評価

九州大学大学院病態修復内科学 石川 文彦

24. 正常ヒト肝細胞を用いた末期致死的PBC患者の治療法の開発

長崎医療センター臨床研究センター 藤岡ひかる

10:45-11:00 休憩

11:00-12:00 特別講演

**Xenobiotics and PBC**

**M.E. Gershwin**

**Professor, Division of Rheumatology, Allergy and Clinical Immunology**

**University of California at Davis**

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業  
『難治性自己免疫性肝疾患の画期的治療法の開発に関する臨床研究』班

平成16年度 第2回会議プログラム

期日：平成17年2月3日～4日

場所：国立病院機構 長崎医療センター

臨床研究センター会議室

2月3日(木)

13:30 - 18:00

13:30 - 13:45 開会の辞

研究計画と今後の方針

主任研究者 石橋 大海

13:45 - 15:15

I. 治療の現状と予後予測

座長 石橋 大海

1) 複数回生検からみた自己免疫性肝炎の治療効果

国立病院機構相模原病院・消化器科

渡部 幸夫 (中村 陽子)

2) 原発性胆汁性肝硬変に対する治療の現況：肝臓学会西部会評議員に対するアンケート調査の報告

国立病院機構九州医療センター・消化器科

酒井 浩徳 (西 秀博)

3) PBC と関節リウマチの合併について

国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター

右田 清志

4) PBC の進展と治療反応性の予測における IgA クラス抗 M2 抗体の役割に関する研究

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・消化器病態制御学

大曲 勝久

5) 原発性胆汁性肝硬変の長期予後予測マーカー

国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター

中村 稔

6) 原発性胆汁性肝硬変の長期予後に影響を及ぼす遺伝的素因の検討

香川大学・第三内科

木村 泰彦 (栗山 茂樹)

15:15 - 16:00

## II. 遺伝子・プロテオーム解析

座長 松口 徹也

7) ゲノミクスに基づく難治性自己免疫性肝疾患の病態解析と診断・治療への応用

金沢大学大学院・がん遺伝子治療学

金子 周一 (本多 政夫)

8) 胆管結紮ラットにおける肝内発現遺伝子の包括的検索

帝京大学・内科学

田中 篤

9) 肝内胆管細胞の heterogeneity (多様性) についてのプロテオーム解析

東北大学大学院・消化器内科学

上野 義之

16:00 - 16:25 集合写真, 休憩

16:25 - 16:30 事務連絡

会計班長

金子 龍也

16:30 - 17:30

## III. 胆管障害とその防御機構

座長

中沼 安二

10) 肝臓における脂肪酸の  $\beta$  酸化能の生体内測定法の開発

高知大学・消化器病態学

西原 利治

11) PBC における peroxisome proliferator-activated receptor  $\alpha$  (PPAR $\alpha$ ) の発現

国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター

伊東 正博

12) ヒト培養胆管細胞および自己免疫疾患自然発症モデル MRL/lpr マウスにおける PPAR $\gamma$  リガンドによる抗炎症効果の検討

金沢大学大学院・形態機能病理学

原田 憲一

13) PBC 移植肝における MRP 発現の検討

九州大学大学院・形態機能病理学

恒吉 正澄 (相島 慎一)

17:30 - 18:00

## IV. 免疫制御(1)

座長

松下 祥

14) PBC 動物モデルの開発とそれを用いた胆道障害機序の解析・治療法の開発

鹿児島大学大学院医歯薬学総合研究科・発生発達生育学

松口 徹也

15) 肝類洞の抗原提示細胞の機能について

京都大学大学院・医学研究科内科学

若月 芳雄

2月4日(金)

9:00 - 11:30

9:00 - 10:00

IV. 免疫制御(2)

座長 中村 稔

16) PBCにおけるToll-like receptorを介した単核球活性化の検討

順天堂大学・消化器病学  
/ 新潟大学・第三内科

市田 隆文  
(山際 訓)

17) 胆管上皮細胞の免疫制御機構の解析

九州大学大学院病態修復内科学

下田 慎治

18) CD8T細胞による免疫制御機構の解析

自治医科大学・消化器内科

喜多 宏人

19) Th1/Th2 バランス制御法の開発

埼玉医科大学・免疫学

松下 祥

10:00 - 11:00

V. 肝移植と再生医療

座長 市田 隆文

20) 生体肝移植をうけた原発性胆汁性肝硬変症例の中期的状況

長崎大学大学院・移植・消化器外科

兼松 隆之(蒲原 行雄)

21) 末期肝硬変に対する組み換え型ヒトHGFの臨床応用

宮崎大学・第二内科  
/ 京都大学・探索医療センター

坪内 博仁  
(井戸 章雄)

22) 遺伝子発現からみたヒト培養肝内胆管細胞の多様性

国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター

小森 敦正

23) 幹細胞を用いた再生

九州大学大学院病態修復内科学

石川 文彦

11:00 - 11:30 全体討論

11:30 閉会



平成17年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業  
「難治性自己免疫性肝疾患の画期的治療法の開発に関する臨床研究」班 班員名簿

| 区分      | 氏名              | 所属等   | 職名   |
|---------|-----------------|---|--|
| 主任研究者   | 石橋 大海           | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター                                     | 臨床研究センター長  |
| 分担研究者   | 中村 稔            | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター                                     | 先端技術研究部長   |
|         | 右田 清志           | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター                                     | 病因解析研究部長   |
|         | 伊東 正博           | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター                                     | 研究検査部長   |
|         | 兼松 隆之           | 長崎大学大学院・移植・消化器外科  | 教授   |
|         | 坪内 博仁           | 鹿児島大学大学院・消化器疾患・生活習慣病学                                       | 教授   |
|         | 松下 祥            | 埼玉医科大学・免疫学講座  | 教授   |
|         | 松口 徹也           | 鹿児島大学大学院・発生発達成育学講座  | 教授   |
|         | 市田 隆文           | 順天堂大学医学部附属静岡病院・消化器内科  | 教授   |
|         | 西原 利治           | 高知大学医学部・消化器病態学  | 助教授  |
|         | 金子 周一           | 金沢大学大学院・がん遺伝子治療学  | 教授   |
|         | 若月 芳雄           | 京都大学大学院・内科学講座   | 講師   |
|         | 上野 義之           | 東北大学大学院・消化器病態学  | 講師   |
|         | 田中 篤            | 帝京大学医学部・内科学講座   | 講師   |
|         | 原田 憲一           | 金沢大学大学院・形態機能病理学   | 講師   |
|         | 喜多 宏人           | 自治医科大学・消化器内科  | 助手   |
|         | 松浦 栄次           | 岡山大学大学院・細胞化学分野  | 助教授  |
| 下田 慎治   | 九州大学大学院・病態修復内科学 | 助手  |  |
| 研究協力者   | 八橋 弘            | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター                                     | 治療研究部長   |
|         | 藤岡ひかる           | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター                                     | 機能形態研究部長   |
|         | 大黒 学            | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター                                     | 肝炎治療研究室長   |
|         | 小森 敦正           | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター                                     | 再生医療研究室長   |
|         | 松本 武浩           | 長崎大学大学院・医療情報部   | 助教授  |
|         | 酒井 浩徳           | 国立病院機構九州医療センター・消化器科   | 医長   |
|         | 渡部 幸夫           | 国立病院機構相模原病院・消化器科  | 地域医療・研修部長  |
|         | 中村 陽子           | 国立病院機構相模原病院・消化器科  | 内科医師   |
|         | 大曲 勝久           | 長崎大学大学院・消化器病態制御学  | 講師   |
|         | 石川 文彦           | 九州大学大学院・病態修復内科学   | 特任助手   |
|         | 井戸 章雄           | 京都大学医学部・付属病院探索医療センター  | 助教授  |
|         | 恒吉 正澄           | 九州大学大学院・形態機能病理学   | 教授   |
|         | 木村 泰彦           | 香川大学医学部・第三内科  | 助手   |
|         | 栗原 毅            | 東京女子医科大学附属成人医学センター  | 助教授  |
|         | 橋本 悦子           | 東京女子医科大学・消化器内科  | 助教授  |
|         | 事務局             | 金子 龍也   | 国立病院機構長崎医療センター・企画課<br>〒856-8562 長崎県大村市久原2丁目1001-1<br>TEL:0957-52-3121/FAX:0957-53-6675<br>e-mail :tkaneko@nmc.hosp.go.jp |
| 経理事務担当者 | 竹森 史            | 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター<br>e-mail : takemori@nmc.hosp.go.jp | 事務員  |

厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業  
「難治性自己免疫性肝疾患の画期的治療法の開発に関する臨床研究」

平成17年度 第1回班会議プログラム

期 日 : 平成17年7月7日(木)13:30  
~7月8日(金)11:50

場 所 : 国立病院機構 長崎医療センター  
臨床研究センター会議室

7月7日(木) 13:30 - 18:00

13:30 - 13:45 開会の辞

研究計画と今年度の方針

主任研究者 石橋 大海

13:45 - 14:45

I. 治療の現状と長期経過

座長 石橋 大海

- 1) 自己免疫性肝炎治療の現状と最善治療への模索 — 国立病院機構肝臓ネットワーク集計から—  
国立病院機構相模原病院・消化器科 渡部 幸夫
- 2) 原発性胆汁性肝硬変に対する治療方針の現状把握のための調査 — 第2報 —  
肝臓学会東部会評議委員に対するアンケート調査および西部会評議委員に対するアンケート  
調査を含めたまとめ  
国立病院機構九州医療センター・消化器科 酒井 浩徳(西 秀博)
- 3) PBC の長期経過: 治療による病態の変遷  
東京女子医科大学・消化器病センター 橋本 悦子
- 4) PBC の長期経過と予後予測マーカー(国立病院機構肝疾患共同研究班のまとめ)  
国立病院機構長崎医療センター  
・臨床研究センター 中村 稔
- 5) 原発性胆汁性肝硬変の長期予後に影響を及ぼす遺伝的素因の検討  
香川大学・第三内科 木村 泰彦

14:45 - 15:45

II. 胆管障害とその修復(1)

座長 西原 利治

- 6) 原発性胆汁性肝硬変に対する bezafibrate 療法の効果と問題点  
東京女子医科大学附属成人医学センター消化器内科 栗原 毅

7) 肝細胞における脂肪酸 $\beta$ 酸化能を規定する遺伝子の SNP と PBC に対する bezafibrate 療法  
高知大学・消化器病態学 西原 利治

8) PBC における PPAR $\alpha$  と Catalase の発現

国立病院機構長崎医療センター

・臨床研究センター

伊東 正博

9) 自己免疫疾患自然発症モデル MRL/lpr マウスを用いた PPAR $\gamma$  リガンド投与による  
抗炎症効果の検討

金沢大学大学院・形態機能病理学

原田 憲一

15:45 - 16:10 集合写真, 休憩

16:10 - 16:15 事務連絡

会計班長

金子 龍也

16:15 - 17:00

### III. 胆管障害とその修復(2)

座長 中沼 安二

10) PBC における胆管障害の heterogeneity とその意義

九州大学大学院・形態機能病理学

恒吉 正澄(相島 慎一)

11) 胆管炎モデルマウスを用いた胆管細胞のプロテオーム解析

東北大学大学院・消化器内科学

上野 義之

12) ヒト肝内胆管細胞の再生及び管腔形成に関する基礎的検討

国立病院機構長崎医療センター

・臨床研究センター

小森 敦正

17:00 - 17:45

### IV. 免疫(1)

座長 喜多 宏人

13) PBC 動物モデルを用いた胆道炎発症機序の解析および治療法の開発

鹿児島大学大学院医歯薬学総合研究科

・発生発達生育学

松口 徹也

14) PBC 肝組織での TLR4 の発現

国立病院機構長崎医療センター

・臨床研究センター

右田 清志

15) Toll-like receptor を介した免疫応答の PBC 病態への関与

順天堂大学・消化器病学

/ 新潟大学・第三内科

市田 隆文

(山際 訓)

追加) PBC における高 IgM 血症: 自然免疫との関わりについて

帝京大学溝口病院・第四内科

菊池 健太郎

7月8日(金) 9:00 - 11:30

9:00 - 10:00

IV. 免疫(2)

座長 中村 稔

- 16) Th1/Th2 バランス制御法の開発 インバリアント NKT 細胞亜分画による制御  
埼玉医科大学・免疫学 松下 祥
- 17) PBC における画期的治療法の開発  
九州大学大学院・病態修復内科学 下田 慎治
- 18) 自己抗原特異的 CD8T 細胞応答とその制御による特異的治療法の開発  
自治医科大学・消化器内科 喜多 宏人
- 19) PDC-E2-リポソームを用いた CTL 誘導に関する検討  
岡山大学大学院・病態機構学講座(細胞化学分野) 松浦 栄次

10:00 - 10:45

IV 遺伝子解析

座長 金子 周一

- 20) ①genipin(インチンコウトウ)の PBC に対する効果  
②PBC における Wnt/b-catenin シグナル伝達経路の関与  
帝京大学・内科学 田中 篤
- 21) 肝生検組織の遺伝子解析  
国立病院機構長崎医療センター  
・臨床研究センター 中村 稔(瀧井 康)
- 22) PBC における発現遺伝子の特徴  
金沢大学大学院・がん遺伝子治療学 金子 周一

10:45 - 11:30

V. 肝移植と再生医療

座長 市田 隆文

- 23) 当科における生体肝移植を施行した原発性胆汁性肝硬変症例の検討  
長崎大学大学院・移植・消化器外科 兼松 隆之(高槻 光寿)
- 24) 末期肝硬変に対する組み換え型ヒト HGF の臨床応用  
— 医師主導型治験への問題点 —  
宮崎大学・第二内科 坪内 博仁  
/ 京都大学・探索医療センター (井戸 章雄)
- 25) 幹細胞による再生医療  
九州大学大学院病態修復内科学 石川 文彦

11:30 - 11:50 全体討論

11:50 閉会

厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業  
「難治性自己免疫性肝疾患の画期的治療法の開発に関する臨床研究」

平成17年度 第2回班会議プログラム

期 日 : 平成18年1月26日(木) 13:30  
~1月27日(金) 11:50  
場 所 : 国立病院機構 長崎医療センター  
臨床研究センター会議室

1月26日(木) 13:30 - 18:10

13:30 - 13:45 開会の辞

研究班の総括

主任研究者 石橋 大海

13:45 - 14:30

I. 治療の現状

座長 石橋 大海

1) 自己免疫性肝炎治療の現状と予後について

国立病院機構相模原病院・消化器科

渡部 幸夫

2) 原発性胆汁性肝硬変に対する治療方針の現状把握のための調査:第2報(肝臓学会評議員(西部会・東部会)に対するアンケート調査)

国立病院機構九州医療センター・消化器科

酒井 浩徳

3) Hepatic fatty acid metabolism in vivo imaging を用いたUDCA治療抵抗性PBC症例に対するbezafibrate療法の評価を目指して

高知大学・消化器病態学

西原 利治

14:30 - 15:30

II. 治療の分子標的(1)

座長 若月 芳雄

4) PBCの進展予測におけるIgAクラス抗2-OADC抗体の役割に関する研究

長崎大学第二内科

大曲 勝久

5) PBCの予後予測に基づく分子標的の探索

国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター

中村 稔

6) PBC進展メカニズムの組織学的解明:胆管消失、線維化、血管構築の破綻について

九州大学大学院・形態機能病理学

恒吉 正澄(相島 慎一)

7) ゲノミクスに基づく難治性自己免疫性肝疾患の病態解析と診断・治療への応用

金沢大学大学院医学系研究科

金子 周一

15:30 - 16:00 集合写真, 休憩

16:00 - 16:10 事務連絡

会計班長 金子 龍也

16:10 - 17:10

III. 動物モデルの開発

座長 金子 周一

8) PBC モデルマウスの作製に関する検討

岡山大学大学院・病態機構学講座(細胞化学分野) 松浦 栄次

9) 慢性腸炎モデルマウスを用いた胆管炎モデルの作製と、胆管炎発症機序の検討

東京女子医科大学・消化器病センター 橋本 悦子(春田 郁子)

10) AMA 産生動物モデルの胆管細胞を用いた網羅的検討

東北大学大学院・消化器病態学 上野 義之

11) PBC動物モデルを用いた胆道炎発症機序の解析および治療法開発

鹿児島大学大学院医歯薬学総合研究科

・発生発達生育学 松口 徹也

17:10 - 18:10

IV. 免疫制御法の開発(1)

座長 喜多 宏人

12) Th1/Th2 バランス制御法の開発 インバリアント NKT 細胞亜分画による制御

埼玉医科大学・免疫学 松下 祥

13) PBC 患者における BAFF(B cell activating factor belonging to the tumor necrosis factor family )  
の異常

国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 右田 清志

14) PBC 患者における TLR9 の SNP と高 IgM 産生能

香川大学・第三内科 木村 泰彦

15) Toll-like receptor を介した免疫応答の PBC 病態への関与

順天堂大学・消化器病学 市田 隆文(山際 訓)

1月27日(金) 9:00 - 11:50

9:00 - 9:45

V. 免疫制御法の開発(2)

座長 中村 稔

16) 細胞移入による実験肝炎治療の考察

京都大学大学院医学系研究科

若月 芳雄

17) 原発性胆汁性肝硬変(PBC)における自己抗原(PDC-E2)反応性 T 細胞の免疫制御

九州大学大学院・病態修復内科学

下田 慎治

18) 自己免疫性肝疾患における細胞性免疫応答の解析と治療応用に関する研究

自治医科大学・消化器内科

喜多 宏人

9:45-10:30

VI. 治療の分子標的(2)

座長 中沼 安二

19) PBC における PPAR $\alpha$  と関連分子の発現

国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター

伊東 正博

20) 培養胆管細胞および MRL/lpr マウスの胆管炎に対する PPAR $\gamma$  リガンドの抗炎症効果

金沢大学大学院・形態機能病理学

原田 憲一

21) ①genipin(インチンコウトウ)の PBC に対する効果

②血清・唾液中 IgA 型 AMA の存在 - 自己抗体と PBC の組織学的進展度との関連 -

帝京大学・内科学

田中 篤

10:30 - 11:30

VII. 肝移植と再生医療

座長 市田 隆文

22) 原発性胆汁性肝硬変症例の肝移植後経過と移植後の自己免疫関連病態の検討

長崎大学大学院・移植・消化器外科

兼松 隆之(江口 晋)

23) 末期肝硬変に対する組換えヒト HGF の第 I/II 相治験

- 開発型の医師主導治験としての取り組み -

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

坪内 博仁

/ 京都大学・探索医療センター

(井戸 章雄)

24) ヒト肝内胆管細胞の再生分化とその修飾に関する基礎的検討

国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター

小森 敦正

25) 幹細胞と再生医療

理化学研究所 横浜研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター

ヒト疾患モデル研究ユニット

石川 文彦

11:30 - 11:50 全体討論

11:50 閉会